

(様式1)

環 境 配 慮 検 討 書

勢農 第3610号
令和6年2月19日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

伊勢農林水産事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対 象 事 業 の 名 称		高度水利機能確保基盤整備事業 磯地区
連絡先	担当課所名	伊勢農林水産事務所 農村基盤室 農村計画課
	電話番号	0596-27-5179

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	高度水利機能確保基盤整備事業 磯地区		
(2)目的	本地区の農地は、農地の大半が未整備であり、一部の区画で耕地整理（昭和初期）されているものの標準区画10a程度と小さく、道路体系についても、大部分の幅員が2m程度と狭いため、大型機械での農作業が行えない状況である。用排水施設については、U字溝程度が殆どで用排兼用水路も存在し、水管理に多大な時間を必要としている。 このため、本事業の区画整理による大区画化や道路、用排水路等の整備をすることで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積の加速化及び農業の生産性の向上を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。		
(3)事業主体	三重県		
(4)計画内容	①計画地の位置 ※参考図－1 参照		三重県伊勢市磯町 地内
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※参考図－2, 3 参照		区画整理工 整地工 A=31.3ha 道路工 L=4.0km 農業用排水施設整備事業 用水路工 L=2.9km 排水路工 L=4.3km
	③用水の使用計画		かんがい期間：5月1日～8月31日 133日間 水源：国営宮川用水分水工より取水
	④エネルギーの使用計画		なし
	⑤雨水、汚水の排水計画		雨水：地区内開水路より、外城田川へ流下させる。 汚水：汚水の排出は無い。
	⑥道路・交通計画		区画整理に伴い、幅4m～5mの農道を配置する。 農道は、砂利又はアスファルト舗装を行う。
	⑦工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期	・着工：令和6年4月頃予定 ・完工：令和15年3月頃予定 ・供用：令和15年4月頃予定
(5)関連事業計画	なし		
(6)その他	なし		

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	①交通の現況	計画地域周辺には小俣駅（近鉄山田線）があり、また国道23号、県道豊北港小俣線、主要地方道伊勢松阪線等の主要道路が隣接していることから、生活環境に適した地域である。
	②土地利用の現況	一級河川宮川と二級河川外城田川の周辺に広がる農地であり、農業振興地域の農用地である。
	③水域利用の現況	水域利用は無い。
	④生活関連施設の現況	学校施設：豊浜西小学校、豊浜西保育所 医療施設：くわやま整形外科リハビリクリニック、堤内科クリニック いのうえ歯科医院 公共施設：伊勢市消防署小俣分署、伊勢警察署豊浜警察官駐在所 文化施設：玉雲寺、磯神社 その他：近隣に介護施設複数
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況 自然環境保全地域：なし 自然公園地域：なし 鳥獣保護区及び鳥獣特別保護区：106 伊勢市豊浜・宮川下流域 特定猟具使用禁止区域（銃）
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 都市計画法：なし 農業地域振興法：規制あり（農業振興地域、農用地区域） 森林法：なし 砂防法：なし 地すべり防止法：なし 急傾斜地災害防止法：なし 河川法：規制あり（一級宮川及び二級河川外城田川） 漁港法：なし 海岸法：なし 文化財保護法：袴田遺跡、大藪遺跡、うるし原遺跡、小御堂前遺跡 景観法：届出要（3,000m2を超える土地の開墾）

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	伊勢市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業 磯地区事業計画書		
	現地調査の有無	☒ ・ 無 (実施日時 R4. 12. 15)		聴取調査の有無	有 ・ ☒
	調査結果等	本地域の地形については1/600と宮川左岸に広がる平坦な水田地域であり、土壌系統は「灰色土壌粘土構造型」と「灰褐色土壌粘土構造滴俺型」となっている。			
(2)水象	文献調査	文献名	伊勢市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業 磯地区事業計画書		
	現地調査の有無	有 ・ ☒ (実施日時)		聴取調査の有無	有 ・ ☒
	調査結果等 ①河川、湖沼	なし			
	②海域	なし			
(3)気象・大気質等	調査の方法	気象庁データ (小俣観測所データ) 令和5年度版 三重県サステナビリティレポート			
	調査結果	a. 気象 計画地最寄りの気象観測データ (小俣観測所) は以下のとおり。 (平成3年～令和2年の30年間平均) ・ 平均気温 : 15.6℃ ・ 降水量 : 1,870.8mm ・ 平均風速 : 2.3m/s (令和5年の観測値) ・ 気温 : かんがい期(5～8月)24.6℃ 非かんがい期(9～4月)12.8℃ 年平均16.7℃ ・ 降水量 : かんがい期(5～8月)1,149.0mm 非かんがい期(9～4月)635.5mm 年合計1,784.5mm ・ 風速 : 平均2.5m/s、最大13.3m/s b. 大気質 計画地最寄りの観測地点 (伊勢市厚生中学校) における令和4年度の大気質観測データ (年平均値) は以下のとおり。 ・ 二酸化硫黄 (SO₂) : 0.001ppm ・ 二酸化窒素 (NO₂) : 0.005ppm ・ 浮遊粒子状物質 (SPM) : 0.013mg/m³ ・ 微小粒子状物質 (PM2.5) : 8.2μg/m³ c. 騒音 伊勢市内における令和4年度の騒音観測データ (等価騒音レベル LAeq) は以下のとおり。 ・ 環境騒音 : 昼間 46～49dB、夜間 35～43dB ・ 自動車交通騒音 : 昼間 63～67dB、夜間 54～58dB			

(4)生態系等	文献調査	文献名	伊勢市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業 磯地区事業計画書																		
	現地調査の有無	☒ ・ 無 (実施日時 R4. 6. 8、 R4. 6. 23、R4. 8. 18)		聴取調査の有無 有 ・ ☒																	
	調査結果等 ① 植物	植生の概要：ユウゲショウ、ハキダメギク、カンサイタンポポ、ヤブマオ、ツルノゲイトウ、ノボロギク、オギ、オオツメクサ、メマツヨイグサ、アキニレ 貴重な植物個体：なし 貴重な植物群落：なし																			
	② 動物	動物相の概要：モンシロチョウ、キタテハ、モンキチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、シマゲンゴロウ、コガムシ、コシマゲンゴロウ、ヒメガムシ、コオイムシ、ミナミメダカ、スミウキゴリ、ヌマガエル、アカミミガメ、トノサマガエル、ニホンアマガエル、テナガエビ、アシハラガニ、ヌマエビ、イシマキガイ、カワニナ 貴重な動物： <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>種名</th> <th>国RL</th> <th>三重県RDB</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シマゲンゴロウ</td> <td>NT</td> <td>NT</td> </tr> <tr> <td>コガムシ</td> <td>DD</td> <td>NT</td> </tr> <tr> <td>コオイムシ</td> <td>NT</td> <td>NT</td> </tr> <tr> <td>ミナミメダカ</td> <td>VU</td> <td>NT</td> </tr> <tr> <td>トノサマガエル</td> <td>NT</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			種名	国RL	三重県RDB	シマゲンゴロウ	NT	NT	コガムシ	DD	NT	コオイムシ	NT	NT	ミナミメダカ	VU	NT	トノサマガエル	NT
種名	国RL	三重県RDB																			
シマゲンゴロウ	NT	NT																			
コガムシ	DD	NT																			
コオイムシ	NT	NT																			
ミナミメダカ	VU	NT																			
トノサマガエル	NT	—																			

出典：環境省レッドリスト2020
 三重県レッドデータブック2015

(5)自然景観・文化財等	文献調査	文献名	伊勢市田園環境整備マスタープラン 農地中間機構関連農地整備事業 磯地区事業計画書 南勢バイパス埋蔵文化財調査報告（1973） 『伊勢市史』考古編		
	現地調査の有無	有 ・ ☒ （実施日時 ）		聴取調査の有無	有 ・ ☒
	調査結果等 ①自然景観	自然景観の概要： 集落と河川に挟まれた立地条件であり、いまだ自然環境が豊かに残っている地域である。このため農地や農業用施設等の適切な維持管理を行うことにより、周辺の集落及び景観との調和を図り、良好な景観の保全を行っている。 貴重な自然景観：特になし			
	②文化財、史跡、名勝等	史跡・名勝・天然記念物：なし 埋蔵文化財包蔵地：袴田遺跡、大藪遺跡、うるし原遺跡、小御堂前遺跡 ※参考図－4 参照			
	③野外レクリエーション 他	磯つつじ公園 ※参考図－1 参照			
(8)その他、自然災害等	なし				

4 事業計画の検討内容（複数案比較）

*用地選定が異なる計画、同じ用地での異なる計画等との比較を行う。比較検討用の位置図を添付すること。

	事業計画案	比較検討（A案）	比較検討（B案）
(1)計画の概要			
(2)環境評価（*左欄に◎○△を相対評価で記入し、右欄に評価の理由を記入） ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎと潤いのある快適な環境の創			
①-1 地球温暖化防止			
①-2 廃棄物対策			
①-3 生活環境の保全			
①-4 その他重点項目		該 当 な し	
②-1 野生生物等の生育空間の確保			
②-2 希少な野生生物の保護			
②-3 地形、地質等の改変の抑止			
②-4 その他重点項目			
③-1 緑化、周辺景観との調和			
③-2 親水等、ふれあい空間づくり			
③-3 その他重点項目			
④上記以外の特記事項			

5 事業計画案の環境配慮に係る評価

長 所	
短 所	該 当 な し
会議で調整を要する事柄	

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	計画的な土地利用、効率的な農作業など組織的で安定した農業経営を実践しながら、計画地域の農業を将来に渡って守っていくことを目的としており、事業の目的から比較検討は行っていない。
----------------	---

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○ーで記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎとおいしいのある快適な環境の創造	環境配慮度 ◎：十分配慮している。 ○：配慮している。 ー：特に配慮する必要がない。
--	---

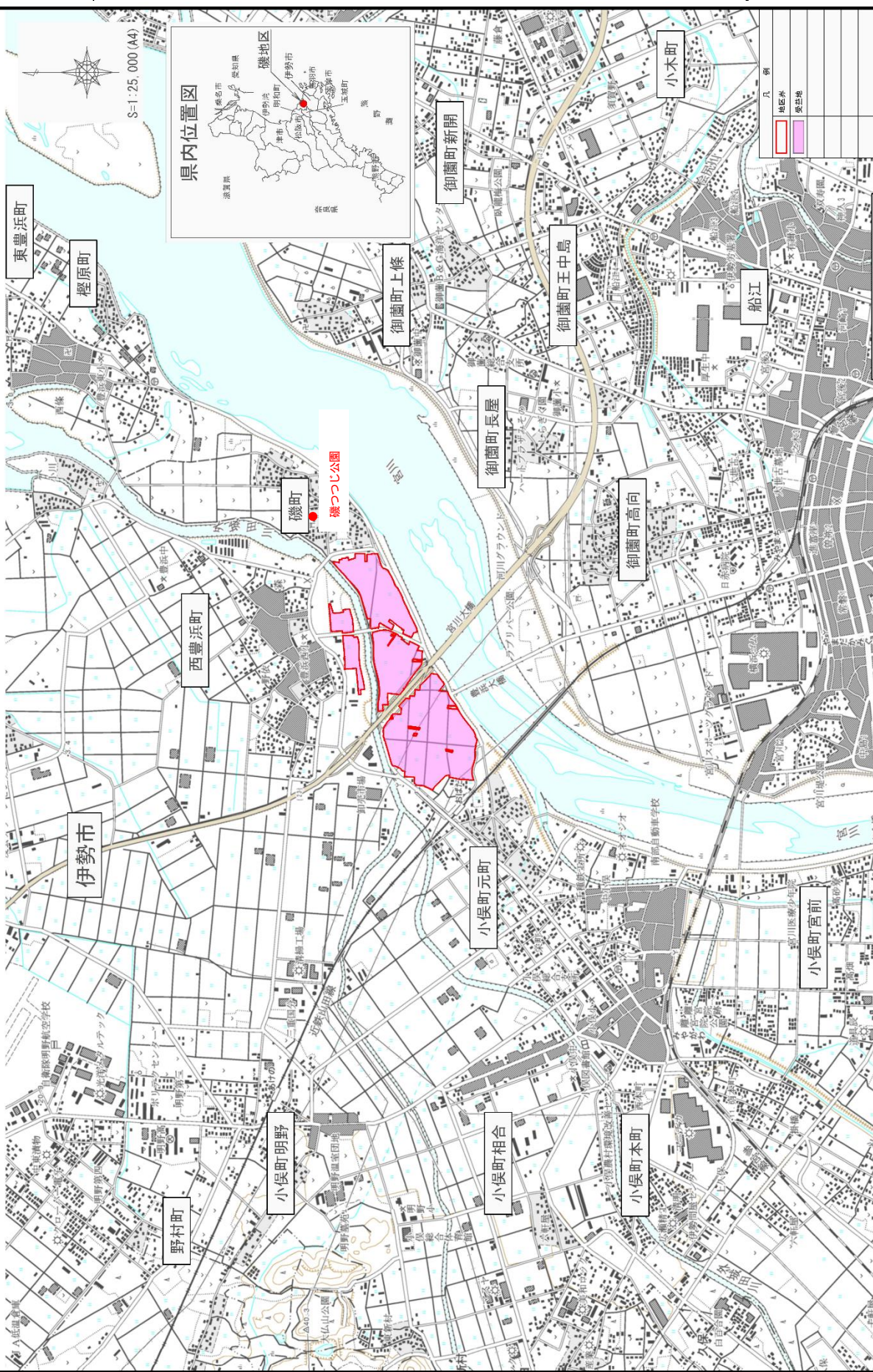
技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (一の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	○	区画拡大に伴う、営農機械の大型化。	大型機械による営農の実施によりエネルギー効率が上がるとともに、整備後は優良農地として保全され、温暖化防止が図られるため。
①-2 廃棄物対策	○	事業実施前後で廃棄物の排出量に影響はない。なお、工事による発生材は三重県建設副産物処理基準に基づき適切に処分する。	三重県建設副産物処理基準に基づき適切に処分を行うことで、廃棄物対策が図られるため。
①-3 生活環境の保全	○	事業実施前後で生活環境への影響はない。なお、工事には、低騒音低振動型及び排出ガス対策型建設機械の使用に努める。	低騒音低振動型及び排出ガス対策型建設機械の使用により、地域周辺の生活環境の保全が図られるため。
①-4 その他重点事項	ー	特になし	特になし
②-1 野生生物等の生育空間の確保	○	用水路内にミナミメダカの生息を確認している。工事中にミナミメダカが発見された場合は、工事区域外（調査時にミナミメダカが確認された排水路の下流で、工事施工しない場所）へ放流予定。工事内容が生息環境に影響する重要種はミナミメダカのみである。	今後の詳細設計時に有識者と改めて協議を行い検討した結果に基づき、生息環境の保全が見込まれるため。
②-2 希少な野生生物の保護	○	用水路内にミナミメダカの生息を確認している。工事中にミナミメダカが発見された場合は、工事区域外（調査時にミナミメダカが確認された排水路の下流で、工事施工しない場所）へ放流予定。工事内容が生息環境に影響する重要種はミナミメダカのみである。また、ニホンイシガメ、ニホンスッポンについて、調査中には生息が確認されていないが、有識者より生息している可能性があるため、確認した場合は対策を講じるよう指示があった。このため、工事中に現認した場合は、工事区域外へ放流する。	今後の詳細設計時に有識者と改めて協議を行い検討した結果に基づき、生息環境の保全が見込まれるため。
②-3 地形、地質等の改変の抑止	○	1筆あたりの農地区画は拡大されるが、地形は平たく、また切盛土量も多くないため、地形の改変を最小に抑えた計画となっている。	地形の改変が最小に抑えた計画となっているため。
②-4 その他重点事項	ー	特になし	特になし
③-1 緑化、周辺景観との調和	ー	特になし	特になし
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	○	本事業により農地が整備され、耕作放棄が防止される。	耕作放棄の防止により周辺環境の保全が図られるため。
③-3 その他重点事項	○	埋蔵文化財の保護を目的に、工事の前に試掘を行い遺構・遺物の出土について確認を行う。	埋蔵文化財を保護する計画となっているため。
④上記以外の特記事項	ー	特になし	特になし

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

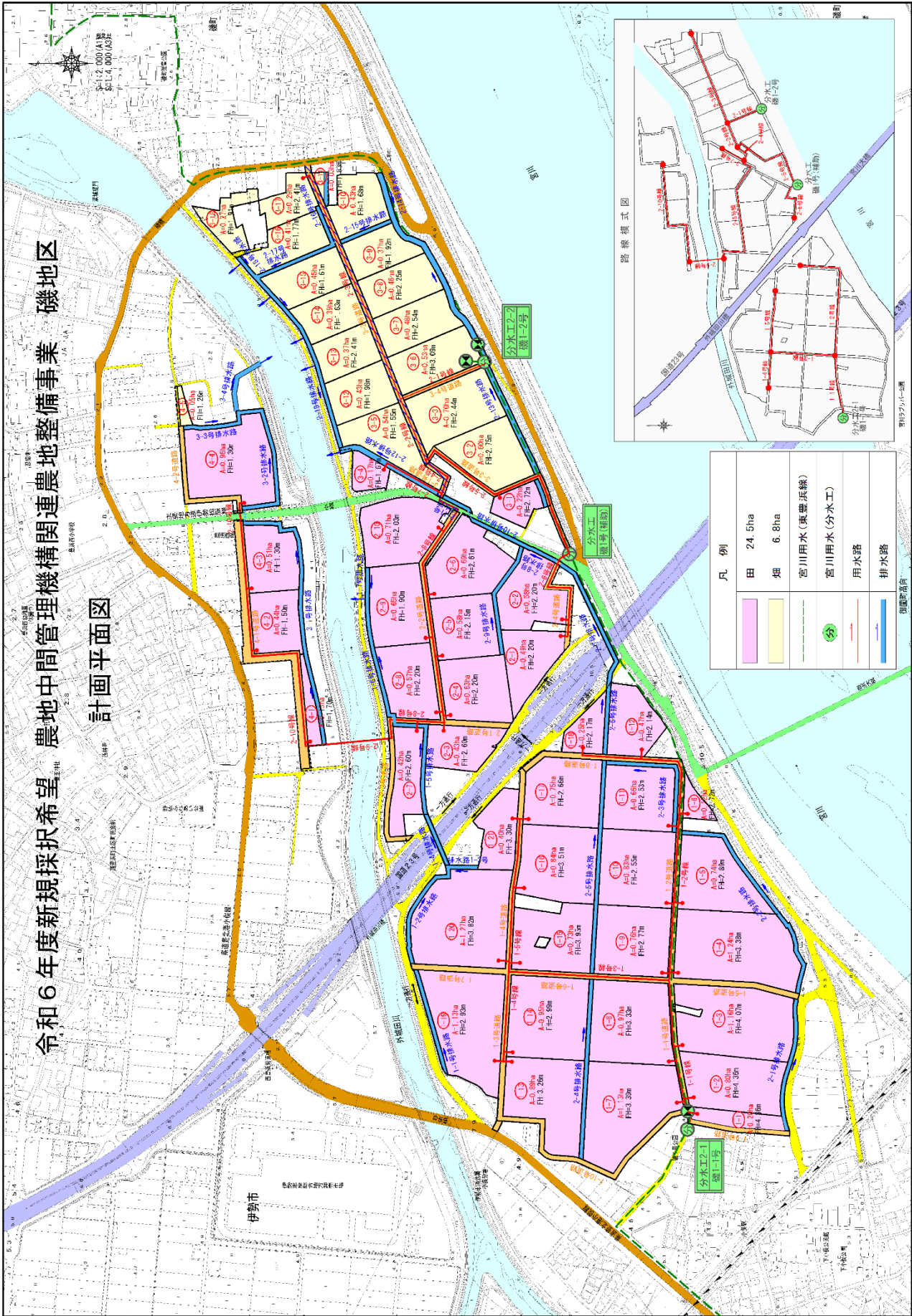
従来事業等と比較して優れている点	本事業が実施されることにより、耕作放棄が防止され、農業活動の維持が図られるため、農業農村環境がもつ多面的な効果が期待される。
今後の課題	詳細設計を行い、地元要望や環境面についての調整を行う必要がある。

令和6年度新規採択希望地中管理機械構架連豐地整備事業地地区

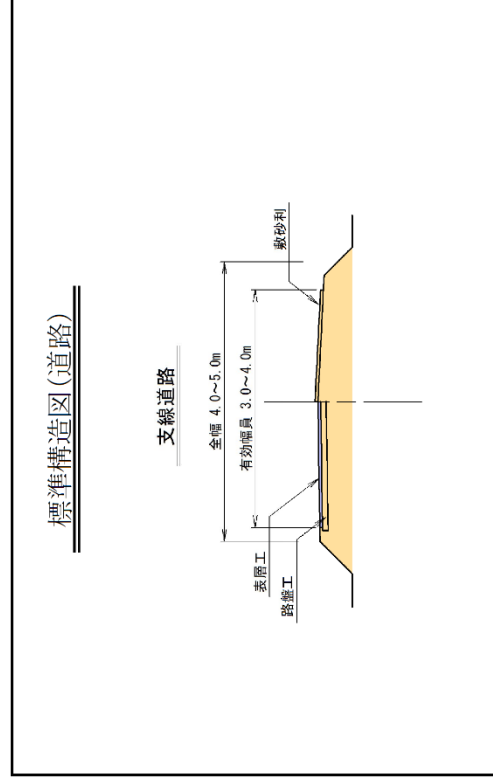
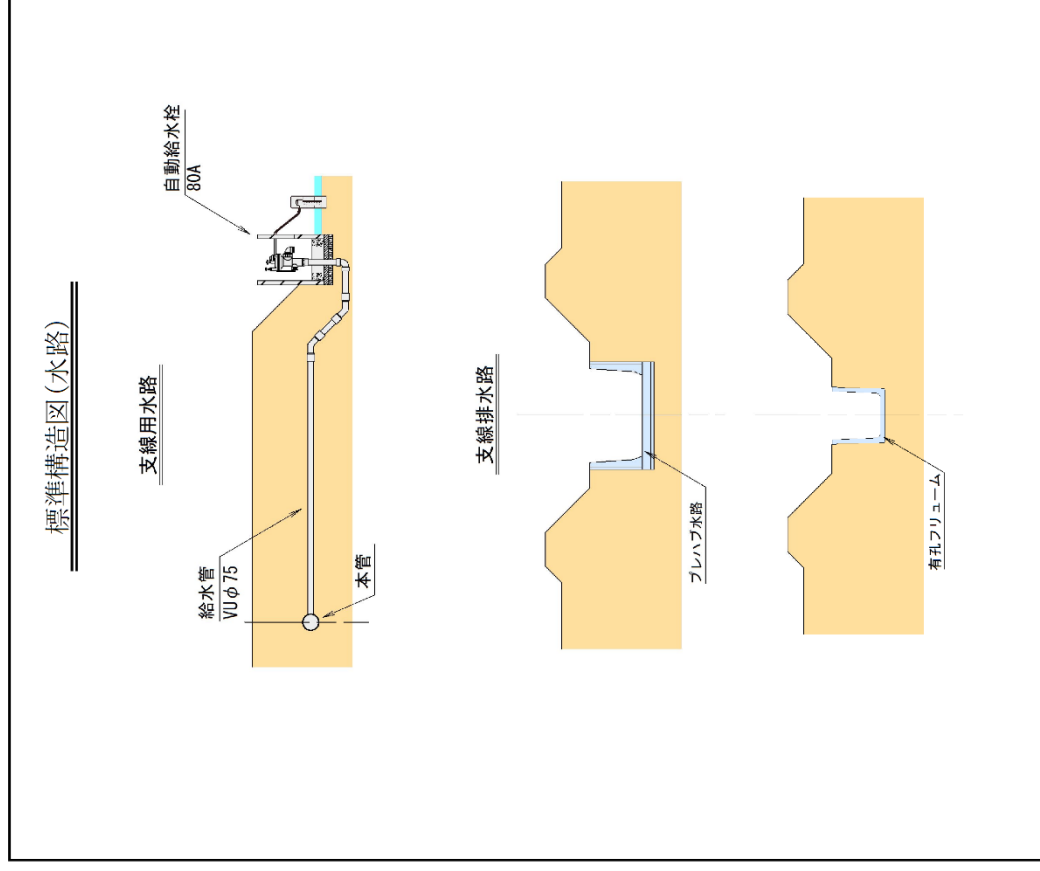
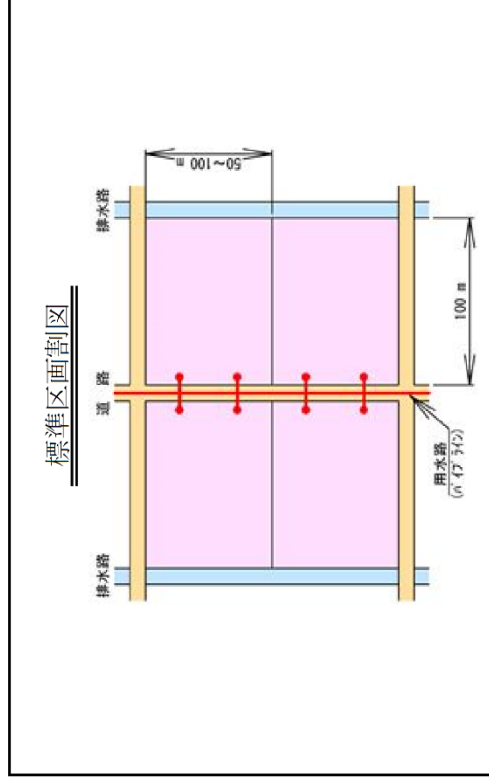
圖
量
位



参考図 2-1 平面図



標準構造図



令和6年度新規採択希望農地埋蔵文化財位置図

